

五日市希望の家の管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	五日市希望の家
	所在地	あきる野市五日市374番地5
	所管課	健康福祉部 障がい者支援課 障がい者相談係（内線）2619
指定管理者	名称	あきる野市社会福祉協議会
	所在地	あきる野市平沢175番地4
	業務内容	市内に住所を有する就業困難な18歳以上の心身障がい者を通所させ、施設内で作業訓練や生活指導を行い、就労意欲を身に付けるなど社会的自立の助長を図る。 ○主な事業は以下のとおり 調理実習、茶道教室、絵画教室、街へ出る会（以上社会化適応事業）廃品回収、手作り作品及びバザー出店（以上作業・訓練事業）
ホームページ URL		http://www.akiruno-shakyo.or.jp/page/sisetu.html
指定期間		平成20年4月1日～平成25年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
登録者数（人）	228	228	223	227	228
開所日数（日）	240	238	236	238	239
延べ通所者数（人）	4,261	4,247	4,088	4,172	4,110
平均（1日当たり） 通所者数（人）	17.75	17.84	17.32	17.53	17.20

※ 登録者数は、各月の登録者数を合計しています。

3 施設の収支状況について

（単位：円）

項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
収入	指定管理料	27,601,364	27,882,000	27,786,000	27,625,090	27,769,000
	その他の収入	341,200	1,686,497	383,700	3,365,953	678,679
	計	27,942,564	29,568,497	28,169,700	30,991,043	28,447,679
支出	維持管理経費	27,942,564	30,056,652	28,239,729	30,991,043	30,286,454
収支合計		0	△488,155	△70,029	0	△1,838,775

4 通所者等からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
通所時刻は、午前9時より前にして欲しい。	市の条例において開所時間は、午前9時から午後4時と規定されており、送迎対象を希望者すべてとしたこともあり、保護者会で正規の開所時間への理解と協力をお願いしている。

5 通所者満足度の把握について

把握方法	毎月、保護者会を開き、サービスに対する評価を確認している。 必要に応じ個別の面接、毎日の連絡帳により、要望を把握している。
調査結果	作業・訓練内容、工賃、行事、職員の対応などについて、満足しているとの意見が大多数である。同様のサービス水準の維持を望まれている。

6 通所者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
給与の減額改定、経費の削減を行いつつ、送迎車を買換え、送迎の安全を図り、通所者へのサービスの維持に努めている。 B棟（旧棟）の和室等の床面を改修し、活動室として使用する。	通所者全員の保護者と面接を実施し、送迎を含め個別支援計画の見直しを行い、サービスの向上に努めた。 2班に編成し作業をB棟においても行い、所員も落ち着いて作業ができ効率的である。
地域団体との交流、事業へのボランティア参加の推進、市内の学生の実習受け入等の実施した。	あきる野市の目指す「協働のまちづくり」の考え方が、地域に浸透してきている。地域の児童に障がい者理解へ学習の機会を与えた。 受け入れ先の不足する実習生を受け入れ、地域福祉を担う次世代育成に役立っている。

7 総合評価

指定管理者の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価）
障害者福祉の理想の実現に向けて、あきる野市社会福祉協議会の資源と能力を活用した運営を実施している。地域の方々や多くのボランティアの力を得て、地域の施設として愛されながら、広がりをもった活動により、通所者も多くの経験や成長が生まれている。また、B棟の床面の改修や事業の充実を図ったことで、経費が膨らんだものの、利用者の活動の場や生活環境の改善が図られたことで、今後事業の充実が図られると評価している。 次年度についても、地域の協力と理解を得ながら、通所者本位のサービスの実施を目指していく。
設置者（所管課）の評価 （次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価）
長年、市内の心身障がい者の作業所として、利用者と保護者の要望等に応え運営している。職員は通所者個々の特性等を理解し、丁寧に指導をしている。また、施設面で利用者の活動しやすい環境に改善されたことは評価できる。今後も、通所者の立場に沿ったきめ細かな指導が求められる。